



R7. 2. 26発行

創設者である高島清氏（初代こばと保育園園長）は、第二次大戦後、焦土と化したガード下にたむろする戦災孤児の姿を見て、「戦後の日本の復興の源は、幼児教育にある」と考えたそうです。保育園創設以来、50年の長きにわたり継続して運営することができるのは、保護者の皆さまのご協力、また、地域の皆さまのあたたかいご支援のおかげです。これからも、子どもたちの成長を見守る福祉施設として精進してまいります。

50年の歴史を刻む（認）こばと保育園から、今年度は21名の子どもたちが小学校へと巣立っていきます。現在3月8日の卒園式に向けて歌や表現を練習しています。ご家族の方に見守られ、お友だちと関わりながら多くの感情を抱えて「今」を精一杯生きている子ども達です。これから先も子ども達が生きやすい世の中であれと願わずにはいられません。

3月の行事

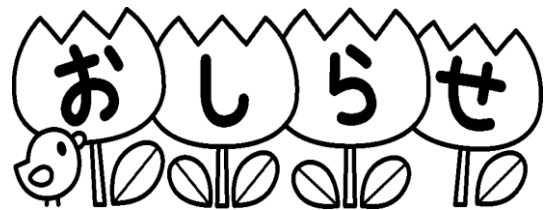
○ 3日（月）ひなまつりおたのしみ会

○ 8日（土）第50回 卒園式
※本園の年長児クラスのみ参加となります。

○ 17日（月）防災訓練

○ 29日（土）お弁当日

保育料口座振替 25日（火）



○新年度在園児面接

10日（月）・11日（火）

○新年度保護者総会 22日（土）

13:30～

○対面式 4月1日（火）

新入園児が入園してきます。
在園児は通常保育となります。

図書館読み聞かせ

18日（火）

リトミック・コアキッズ

3月はありません。
体操服登園日もありません。

今月の手あそび

○おおきくなったらなになる
○きゃべつのなかから

今月のうた

○うれしい ひなまつり ○さんぽ
○ちょうちょ ○ちゅうりっぷ

※行事等変更や中止になる場合があります。ご了承下さい。

※緊急メールを発信する場合があります。読まれたら必ず「確認URL」を押しましょう。

すくすくコーナー

3月3日は3（み）3（み）にちなんで「耳の日」

子どもは風邪などの感染症から耳のトラブルを起こすことがしばしばあります。早く対応できるよう、耳の病気や聞こえの異常のサインを知っておきましょう。

耳の病気・・・子どもが風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがあります。
中耳の中で炎症が起こってうみがたまり熱を出すことや、鼓膜が破れてうみ（耳だれ）が出ることもあります。



発熱など、風邪の症状に加えて

- ・ しきりに耳を触る、頭を振る
- ・ 耳を触られると嫌がる

痛みや違和感のために、耳を触ったり、頭を振ったりします。

また、痛みのために機嫌が悪くなったり、夜中々寝なくなったりします。

＼ふ～ん！／ではなをかむ練習から始めましょう

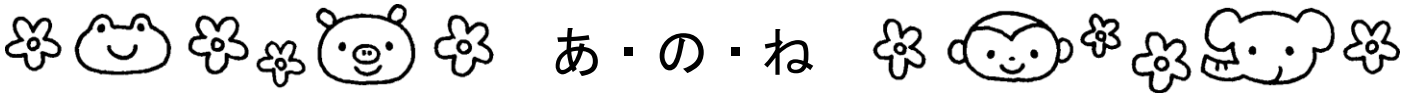
大人にとって鼻をかむのは簡単なことですが、小さな子どもは、鼻から息を吹き出すのも難しいもの。まずは練習から始めてみましょう。

鼻から息を吹いてみる

「お鼻からフーンって吹くよ」と声をかけて、鼻から息を吹き出させます。ティッシュペーパーや糸につるした紙飛行機を顔の前に垂らし、揺らすあそびもおススメです。

片方ふさいで吹いてみる

鼻から息を吹けるようになったら、片方の鼻の穴をふさいで、優しく息を吹くよう声をかけます。上手になったら、ティッシュペーパーを当てて片方ずつ鼻をかませてみましょう。



☆図書館へ行って、絵本の読み聞かせに参加する子ども達。「今日は何の絵本だった？」「今日は何を見て来た？」など職員が子ども達にお話を聞いていました。その日は『どうやってねるのかな』という絵本のお話を聞かせてくれました。

職員1「でてきた動物は何だった？」

Rくん1「フラミンゴは1ぽんあしでねる」 Rくん2「らくだもおった・・・」と。

ラクダは寝そべて眠るのですがそのポーズをして見せてくれました。

Rくん2「こうもりもおった！」と言うとRくん1が「カサカサねるとよ！」と自信満々に言いました。

職員2（・・・カサカサ？どういうことだ？）こうもりはさかさまになって眠るのです。上手く伝わらない中でもどうにか伝えようとジェスチャーをする子ども達。クイズ大会のようになったのですが、正解すると子どもも職員も喜ぶ姿が見られました。とても楽しかった午後の様子でした♪